

海上の森自然観察会

テーマ 紅葉の森を散策しよう

日時 2014年11月15日(土) 10:00~14:45(晴/曇り)

参加者 一般:2名(子ども0) 指導員:9名

タカノツメやヤマハゼ、ウリカエデなど木々の葉が色づいてきました。テーマが紅葉ということで、モミジが多い篠田池方面に向かうこととしました。駐車場の周りではオギやヨシの穂が風に揺れています。よく似たススキとオギを比較して違いを確認しました。駐車場を出てすぐに源田さんが見つけておいてくれたクロコノマチョウの鮮やかな緑色の蛹を観察しました。先月、幼虫を見た付近のヨシの葉にぶら下がっていました。

四ツ沢から篠田池に向かう途中、何箇所かでヌマダイコンの花が咲いていました。先月、スミレサイシンの生育地付近で大きなヌマダイコンを見ましたが、今までこの道端に生えているのには気がつかず、注意不足を痛感しました。篠田池付近ではイロハカエデが紅葉を始め、緑、黄、紅のグラデュエーションが目をひきました。その近くでヤマモミジの若い木を見つけました。

カケスの声を聞きながら進むと、4箇所赤紫色の実をつけたツルリンドウを見つけました。この植物も実がないと、なかなか生えていることに気づきません。リンドウも2株蕾を付けていました。昼食後、湿地に寄ってウメバチソウやミミカキグサの花やヘビノボラズの実を見て、瀬戸大正池に向かいました。池の水は抜かれていましたが、カナクギノキの黄葉が歓迎してくれました。

行楽シーズンで賑わっていた海上の里のサテライトで休憩をとり、帰路につきました。海上の里の電柱に巻かれたプラスチック板の裏には越冬のためのたくさんのテントウムシの仲間が潜っていました。コモ卷と同じようにいろいろな虫が集まっているようで、観察のよいネタになります。(報告:齋竹善行)

<その他観察できたもの> 植物 [花]:ノコンギク、キダチコンギク、スズカアザミ、ヤツデ、ホザキノミミカキグサ、ヤブツバキ、シロダモ、シラヤマギク、 [実]:ヤマノイモ、オニドコロ、イタドリ、ツルニンジン、オケラ、ヌスビトハギ、センニンソウ、フユイチゴ、ヤブムラサキ、ムラサキシキブ、アオツツラフジ、ウメモドキ、ヤマガキ、ヒヨドリジョウゴ、マルバノホロシ、スイカズラ、スルガテンナンショウ、サネカズラ、ゴンズイ、ミヤマガマズミ、ツブラジイ 野鳥:シジュウカラ、メジロ、ヒヨドリ、ノスリ、ハシブトガラス、カケス、エナガ、ウグイス(声)、イカル、モズ、ヤマガラ、コゲラ、 昆虫:ヨコヅナサシガメ、ムラサキシジミ、クワゴマダラヒトリ、オオカマキリ(卵囊)、ナミテントウ、カメノコテントウ、アカネ属 sp



観察会のようす



1 越冬していたテントウムシの仲間